

第 2 回 総務部会 会議報告

日 時:令和7年 4 月25日(金)

18時 00 分～19時15分

場 所:川岸小学校 ふれあい教室

○次 第

- 1 開会
- 2 校名の検討について
- 3 その他
- 4 閉会

○配布資料

- ・全国の義務教育学校の校名について
- ・他市町村の学校名検討事例一覧
- ・第 1 回学校デザイン部会 会議報告及び資料

○部会で出された主な意見

- ・全国の校名に込められた願いについては、地域のシンボルや象徴、統合前の学校名、地域名などを絡めている。さらには、子どもたちの成長の願いを盛り込んで決定している地域が多い。
- ・全国的に見てみると、〇〇学園という名称が多いように感じる。
- ・学校デザイン部会と情報共有をしていき、川岸小学校と岡谷西部中学校のそれぞれのグランドデザインを比較して校名を検討していく必要がある。
- ・他市町村で公募にした際の応募期間については、1 か月が一つの目安になってきている。対象者は、市内全域だったり校区、保護者や卒業生など市町村それぞれ。
- ・6 月の川岸学園設立準備委員会までにどんな方法で等、総務部会からの提案ができるように検討していく。
- ・川岸学園を皮切りに市内の学校が合併するとなった場合の統一感はある必要か。
- ・地域の方々に対して小中学校で名前を募集するのか、園まで含めた名前を募集するのかの説明が必要。

公募をかける対象者について

- ・卒業生を対象とした場合、全員に周知するのは難しいところがある。
- ・在校生、保護者、地域の方々を対象にするのがいいのではないかと。市内すべてを対象としてしまうとその分時間もかかってしまうため地域に限定するべきではないか。
- ・地域というのは行政区で区切るのか、学校区で区切るのかは検討が必要。
- ・対象者ではない方で熱意がある方もいる。その方も応募できるようにすることはできないか。

- ・匿名ではなく名前・住所を記入させたほうがいい。
- ・紙ベースでの丁寧なお知らせについては、在校生、保護者、地域の方々に限定をして、熱意がある方向けにホームページや広報での発信をしていく。

○次回の部会での検討事項

- ・公募の具体的な方法、内容を決定する。

○次回の日程について

- ・令和7年 5 月 29 日(木) 午後6時～
川岸小学校 ふれあい教室 開催予定